



日本橋中



5月号
中央区立日本橋中学校
電話(3851)4074
FAX(3865)2944

HP アドレス
www.chuo-ky.ed.jp/~nihonbasi-jh/
発行日 令和2年5月7日

宇宙飛行士からのメッセージ

中央区立日本橋中学校
校長 平野 雅仁

中央区の花・つつじが綺麗に咲いています。例年ですと、綺麗に咲く花々をゆっくりと歩きながら観賞するのですが、今年のGWは、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためステイホーム・外出自粛が続いています。

そのような日々にあってもウイルスとの闘いで、最前線にいる医療関係者や生活に欠かせない食料品や日用品を販売している方々、上下水道などのインフラ維持やごみ収集、処分に従事されている方々によって日々の生活が支えられています。そのありがたさに深く感謝したいと思います。

さて、緊急事態宣言延長が政府・東京都から発出されました。その要請を受けて、中央区としても緊急事態宣言解除まで休業の継続を決定しています。通常の生活が再開されるまでには、段階的な解除が必要になってきます。今後も区教委からの指示を受けながら、最大限に子どもたちにできることを考えていきたいと思っています。

保護者の皆様には、引き続き、ご理解、ご協力をお願いいたします。

宇宙飛行士の若田光一さんが、「こどもの日」にむけ、メッセージを寄せていました。

〈休校続く子どもたちに、宇宙ステーションの滞在体験からの助言〉 埼玉新聞社

現在自宅でのテレワークが中心ですが、国際宇宙ステーション（ISS）「きぼう」での実験や、ISSに物資を運ぶ「こうのとり」9号機の打ち上げ準備を進めるための仕事、月探査に向けたNASA（米航空宇宙局）などとの国際的な調整に毎日、取り組んでいます。新型コロナの影響で、多くの方々が家で過ごす時間が増えていますが、宇宙の閉鎖空間で188日間仕事をした時と同様、普段の生活からリズムが変わらないように平日は日課をきちんと定め、自分のペースを掴（つか）んで、学びと遊びのメリハリのある時間を過ごすことが大切だと思います。日課の中に運動の時間を短くても入れること、週末はきちんと休み、決して無理をしないことが、宇宙でも地球上でも体と心の健康に重要です。そして、オンラインで家族や友人と密なコミュニケーションを続けるなど、今しかできないことを楽しんでください。つらいなと思った時は、工夫しながら前に進もうと努力している時が一番成長している時だということも忘れないでください。行動で迷ったら、今、なぜこのことに取り組んでいるのかという根本の理由に立ち返って、今自分が取り組むべきことが何かを再認識することが大切です。どんな時もユーモアを忘れず、感染を防ぐために一人一人が今できることをしっかり考え行動し、世界中のみんなと一緒に乗り切っていきましょう。

若田光一さんの言葉です。

宇宙から見ると、本当に少ない確率で私たちはこの素晴らしい故郷と自分の命をもらっていること、生命体が存在することの奇跡を感じるのです。「命って有り難いなあ」と。/NASDA（宇宙開発事業団）の宇宙飛行士候補試験を受けたのは、試験に落ちてしまったとしても、自分の知らない世界に目を向けたり、挑戦してみるという経験が自分のこれからの人生に必ずプラスになると思ったからです。/自分の限界がどこにあるかを探しながら生きていく。結局いろんな人がいますけれども、それぞれの人がおかれた環境の中で、やっぱりどこまで頑張れたかというのが、人に対する評価につながるべきだと僕は思います。周りはいくらでも誤魔化せると思うんですけども、自分には嘘つけませんよね。私 センスはないですけど、好きで入った仕事ですし、やっぱり自分で選んだ以上、その中で最善をつくすというのかな、自分には妥協しないというのかな、そういうつもりで生きています。/今、できることを着実に。/

私たちも今できることをしっかりと着実にいき、この困難な状況をみんなで乗り越えていきましょう。